島根県看護協会
2020年 10月

松江支部だより　しののめ

Vol.73

島根県松江市玉湯町湯町 1-2
地域医療機能推進機構 玉造病院
TEL（0852）62－1560
発行責任者　南　喜代美
会員数 1,975名（9月27日現在）

支部長 あいさつ

地域医療機能推進機構 玉造病院
南　喜代美

梅雨明け後の猛暑が和らぎ、気持ちのいい秋風が吹き渡るころとなりました。会員の皆様には平素より島根県看護協会松江支部の活動にご協力を賜り御礼申し上げます。

令和２年度松江支部総会は新型コロナウィルス感染症発生を受け中止としました。そのため、新旧役員交代は役員のみで行い、７月から新年度の活動をスタートしました。

８月に松江市内で大規模クラスターが発生するなど未だ新型コロナウィルス感染症が収束する見通しの立たない中、まちの保健室事業は一部中止、研修会は日程を変更し新型コロナウィルス対策を取りながら開催しようと進めています。今後は、島根県看護協会、各支部と連携しながら各事業が安全に運営できる体制を整え活動していきたいと思います。今後とも、皆様のご理解とご協力をお願い致します。

＊令和２年度＊

松江支部役員

今年度のメンバーです。
よろしくお願いします。

役職名	氏名	所属
支部長	南　喜代美	地域医療機能推進機構玉造病院
副支部長	高野 美智子	松江市健康推進課
副支部長	出來　弘恵	松江生協病院
書記	目次　早苗	地域医療機能推進機構玉造病院
会計	鳥谷 智賀子	松江市立病院
役員	木山 真由美	安来第一病院
役員	武田　知江	松江赤十字病院
第１班 班長	伊藤　恵理	松江市子育て支援センター
第２班 班長	田中 由美子	松江赤十字病院
第３班 班長	赤江 壽美子	松江市立病院
第４班 班長	布施　道代	国立病院機構松江医療センター
第５班 班長	中村　陽子	松江生協病院
第６班 班長	足立　弘美	地域医療機能推進機構玉造病院
第７班 班長	藤井　幸江	安来市立病院

ぜひご活用ください

キャリナース

経験を積んでキャリアアップしたい
看護職の皆さまを応援します！

研修会のお知らせ

＊日　時／12月5日(土)　10：00～11：30
＊会　場／くにびきメッセ　501号室
＊テーマ／「災害の備えできていますか？」
～私たちに今からできること～
＊講　師／中筋 真紀　日本赤十字 DMAT 隊員

新型コロナウイルス感染防止対策を講じて開催します。

新人看護師紹介

手術室看護師になって

松江生協病院　高 木 日菜子

私は、今年４月、松江生協病院に入職し、手術室に配属されました。病棟とは全く雰囲気の異なる環境に戸惑いましたが、手術室看護師の担う役割を学び、少しずつ業務にも慣れてきました。

患者さんの年齢や疾患も多岐にわたり、日々、様々な手術が行われています。先輩看護師にご指導頂きながら器械出しや外回りを経験し、４カ月が経ちました。器械出しは、患者さんの疾患と術式、それに使われる手術器械や手順の習得が必要です。外回りは、手術を受ける患者さんにとって一番身近な存在であり、麻酔や手術が与える影響と個別性を踏まえて、患者さんに寄り添った看護計画を立案、実践する重要な業務です。

毎日、自分の知識や技術不足を感じていますが、手術を円滑に進め、患者さんやそのご家族に安心感を与えられるような看護師になりたいです。チームの一員として、足手まといにならないよう、これからも頑張ります。

看護師になって

JCHO 玉造病院　坂 野 すみれ

令和２年４月より JCHO 玉造病院で看護師として働いています。慣れないことも多く、毎日スタッフの皆さんからご指導いただきながらたくさんのことを学んでいます。私が勤務している回復期リハビリテーション病棟には整形外科の患者様だけでなく、脳血管疾患の患者様がリハビリテーションを目的に入院されています。日常生活動作の維持・拡大を図るための援助を行ったり、自宅や施設へ退院するための準備、支援を他職種の方と連携しながら行っています。

患者様の中には在宅へ帰ることへの不安や心配を抱えている方が多くいます。そんな患者様や患者様を支えるご家族のために、少しでも安心していただけるように看護を行っていきたいと考えています。日々の業務や患者様との関わりにおいて、自分の知識不足や技術不足を痛感することもありますが、患者様が笑顔で退院される姿をみると私自身元気をもらえます。

これからも働いていく中で自分の未熟さを感じることや、壁にぶつかることもあると思いますが、笑顔を忘れず患者様やご家族と関わり、看護師として成長していきたいです。

職員紹介

松江市役所玉湯支所市民生活課　保健師　吉 原 大 貴

松江市役所に入庁して３年目になりました。２年の保健師業務を経て、保健師という専門職の幅広さに難しさと楽しさ両方の気持ちを抱いています。まだまだわからないことも多く、周囲の方々に日々ご指導いただきながら業務に励んでいます。また、今年度は初めての人事異動を経験しました。新たな職場、職員、地区の方々との出会いにとても刺激を感じています。

現職場では人口約7,000人の地区を３人の保健師で担当し、地区担当保健師としての業務に加え、成人・高齢者保健、また母子保健業務も協力しながら取り組んでいます。平成 17 年に、玉湯町を含め１市７町村が合併しました。その歴史もあり、支所はとても住民の方と距離が近いように感じています。また、出生から死亡、障がい等様々な手続きを支所で行うことができます。直接保健師が携わる業務ではないことも多いですが、人々の‘生活を捉える’こと、そして住民と‘顔の見える関係’が大切であると感じています。人事異動を経験し、新たに感じる気づきを大切に成長していきたいと思います。

現在は新型コロナウイルス感染症の渦中に、戸惑いと、もどかしさを抱きながら日々を過ごしています。一刻も早い事態の収束を願いつつ、松江市保健師として感染症対策に励んでいきたいと思います。

トピックス「看護教育の現場から」

島根県立松江高等看護学院
近藤　直美

今年4月から5月にかけて、新型コロナウイルスの第1波の対応で、皆様方の職場や家庭、あらゆる教育現場で様々な課題に直面されご苦労があったかと思います。

当校は6月から対面授業を再開し、以前のような日常を取り戻しつつあります。3年生の学内実習は、8月から臨地実習を部分的に実施する予定で準備を進めています。この3カ月を振り返りながら、当校のことをご紹介します。

3月春季休業開始時に、各領域実習の教員が何を大切に考えているのかを伝え合い、授業(実習)デザインを共有しました。授業や領域間の学びの繋がりが明確になりました。その後、緊急事態宣言の発令を受け、休校中の学習や学内実習への代替えを早急に整える必要に迫られました。各担当教員は、戸惑いつつも、授業デザインから学習内容を精選し、学内実習の具体計画を作成しました。それは、これまで実習施設の指導者の皆様方と積み重ねてきた指導や意見交換と、2月の基礎実習を通して学んだ学生の成長とをベースにしたものです。学内実習を始めますと、学生側の要望と教員のアイデアが融合され、実習内容がより充実したものに変化していきました。ペーパー事例は、生きている人になっていきました。一方で、学内実習の限界と臨地実習の重要さも痛感します。この期間、看護教育とは？を何度も問うことになりました。同時に、学生も教員も個々の発想や行動力が向上したことを実感しています。先日、小児実習の学生が実習の一環として、七夕の笹を持って来てくれました。短冊に皆が願いを書きました。「国家試験みんなで合格」「看護師になりたい」「学生の希望がみんな叶いますように」等とありました。看護を学ぶ後輩たちに、今後も、臨地実習や講義等ご協力をよろしくお願い申し上げます。首都圏の感染者増加に、第2波が懸念されます。自分自身だけでなく、家族や周囲の人を守る行動と一人ひとりの持つ力を結集して、前に進めたらと思う日々です。

職場紹介「7月7日は七夕イベント」

松江赤十字病院　小児センター
持田　真奈美

小児センターは、看護師13名、助産師2名、看護助手1名、保育士1名で働いています。パートナーシップ・ナーシング・システム®の看護方式で、パートナーを決めグループを作っています。今年のグループは、個性を生かし力を合わせ看護しようの「プリキュアオールスターズ」、もう一つは、夢のある看護を提供しようの「ドラえもん」です。スタッフ一同、子供たちやご家族の安心と満足にこたえられる看護を提供できるよう、入院中だけでなく退院後のサポートも含め、多職種によるチーム医療に取り組んでいます。

そして、子供たちが楽しみながら入院生活が過ごせるように、保育士を中心として季節の行事や遊び、入院環境の飾りつけなどの工夫もしています。7月は折り紙で作った小さな星を繋いで天の川が飾られ、子供たちの願いが書かれたカラフルな短冊や七夕飾りも笹の葉につるしました。七夕イベントでは、保育士からの手作りキャラクターの短冊や栄養士からの手作り七夕ゼリーが提供されて、子供達は大喜び、私達も見るだけで、幸せな気持ちになりました。そして、皆で病室を訪問し、七夕の歌を歌い、隠れミッキー探しを楽しみました。なんと、七夕に飾られたスイカの種がミッキーでした。アマビエ（疫病をおさめる謎の妖怪）も登場してコロナ退散も願いました。子供たち皆の願いが届くと嬉しいです。今後も子供たちの笑顔があふれるように努めていきます。

編集後記

猛暑にコロナ禍と「特別な夏」が終わりました。今回は各施設で活躍する看護師さんを特集しました。それぞれの場所で頑張る姿に力をもらいました。皆さんはいかがでしたか？

お詫び　しののめ7月号で掲載しました「令和2年度支部予算要求書」に誤りがありましたので、本号に改めて掲載しましたのでご覧下さい。

令和２年度支部予算要求書

支部名 松江支部	事業名	支部役員会議	支部総会	支部研修会	支部だより発行	まちの保健室	看護の日	訪問看護研修	2020年度会費収入(1,134,000円)の算定根拠
	実施時期	毎月１回 (12月と２月を除く) (10回／年)	2020年６月13日(土)	第１回：６月13日 第２回：11月頃	2020年５月号 (総会特集号) 2020年９月号 (第73号) 2021年３月号 (第74号)	年間通じて実施	2020年５月	2020年10月～2021年１月（予定）	
支部役員数 14名	実施場所		いきいきプラザ島根	いきいきプラザ島根 他		常設型年２回 イベント型年４回	松江市内	松江・安来市内 訪問看護ステーション	令和元年度11月末の支部会員数1,968人
支部会議開催回数 10回	参加者数	平均14名	100名程度	100名程度		7～30名	14名	5名程度	500円×1,968人＋150,000円＝1,134,000円
	参加費	－	－	会員　円、会員外　円		会員　円、会員外　円	会員　円、会員外　円	会員　円、会員外　円	

区分	記載上の説明	金額：円	内訳、積算内容	金額：円	内訳、積算内容	金額：円	内訳、積算内容	金額：円	内訳、積算内容	金額：円	内訳、積算内容	金額：円	内訳、積算内容	金額：円	内訳、積算内容	金額：円
事業活動収入		195,000		185,000		139,000		281,000		244,000		40,000		50,000		1,134,000
715 会費等収入	＊ 記載は不要です	195,000		185,000		139,000		281,000		244,000		40,000		50,000		1,134,000
001 会費収入	＊ 記載は不要です	195,000		185,000		139,000		281,000		244,000		40,000		50,000		1,134,000
721 事業収入																0
001 事業収入	参加費、受講料、資料代等															0
002 委託金収入	県からの委託金等															0
003 衛星通信協力金収入	@ 2,000 ×参加者数															0
730 補助金等収入																0
002 助成金収入	事業に対する日看教等からの助成金															0
741 雑収入																0
001 受取利息収入	＊ 記載は不要です															0
002 雑収入	上記以外の収入															0
事業活動支出		195,000		185,000		139,000		281,000		244,000		40,000		50,000		1,134,000
811 事業費支出		195,000		185,000		139,000		281,000		244,000		40,000		50,000		1,134,000
003 臨時雇用賃金支出	アルバイト等賃金															0
009 委員会支出	委員会開催経費（旅費、昼食）															0
010 旅費交通費支出	講師、協力員等旅費	120,000	役員旅費	20,000	役員・協力員旅費	21,000	講師旅費 役員旅費			94,000	常設型旅費1,000円×7名×2回＝14,000円 イベント型旅費1,000円×60名＝60,000円（10人×2回、20人×2回）意見交換会旅費1,000円×10名×2回＝20,000円					255,000
011 通信運搬費支出	電話、切手等通信経費	40,000	案内文郵送等					55,000	3回分の郵送							95,000
017 消耗什器備品費支出	5万円以上10万円未満の物品															0
018 消耗品費支出	クリアフォルダー等	20,000	郵便用封筒等					10,000	郵送用封筒等	16,000	コピー用紙、歯科指導用グッズ等	40,000	記念グッズ等			86,000
020 広告宣伝費支出	新聞広告等															0
021 印刷製本費支出	報告書等を業者で作成する経費			130,000				216,000	85,000円×2回＝170,000円、総会特集号46,000円	50,000	ポスター、パンフレット等					396,000
023 光熱水料費支出	電気、水道、ガス料金等															0
024 使用料及び賃借料支出	会場料、特殊機器等の借り賃			20,000	会場費	20,000	会場費							50,000	施設使用料 (10,000円×5人)	90,000
025 図書新聞費支出	関係書籍の購入代金等															0
026 保険料支出	ボランティア保険料等									12,000	ボランティア保険、行事保険					12,000
027 諸謝金支出	講師、アシスタント等謝金					60,000	30,000円×2回									60,000
029 食糧費支出	講師、協力員等昼食、講師茶菓代等	15,000	お茶代	15,000	来賓茶菓、昼食代等	17,000	講師茶菓1,500円×2回＝3,000円、役員昼食代1,000円×14名＝14,000円			62,000	常設型：お茶代150円×7名×2回＝2,100円 イベント型：お茶代150円×30名×2＝9,000円、弁当代1,000円×20名×2回＝40,000円　意見交換会：茶菓代10,000円　他					109,000
031 負担金支出	参加費、受講料等負担すべき経費															0
034 委託費支出	イベント等業者に委託する場合の経費															0
037 雑費支出	上記以外の経費					21,000	垂幕代、資料コピー代×2回分等			10,000	クリーニング代					31,000